

OpenText Professional Performance Engineering

- 負荷テストツールのデファクトスタンダード -

HITACHI

想定外のアクセス集中を“想定内”にし、
企業の信頼と成長を支える。

こんなお困りごとはありませんか？



システムが負荷に
耐えられるか不透明

実環境で試せないため、
負荷に耐えられるか
判断できず機会損失や
企業の信頼失墜などの
障害リスクが不透明



インフラコスト

実性能が見えず
余裕を見た設計となり
インフラコストが
過剰になりがち



負荷テストの
工数肥大

本番同等の再現や
大規模なテストにより
実行工数が膨らみ、
変更対応が遅れる

性能対策には
「事前設計から検証までの一貫対応」が不可欠です

OpenText Professional
Performance Engineering で解決できます！



設計段階の性能検証で
リスク可視化&対策



根拠ある性能設計で
インフラ投資を最適化



負荷テストを効率化し
リリース判断を迅速化

品質・スピード・コストを同時に最適化し
高い投資対効果を実現

株式会社 日立ソリューションズ

OpenText Professional Performance Engineering が選ばれる理由

複数ツールは不要！あらゆるシステムの負荷テストを実施

180を超える幅広いテクノロジーに対応。
(Web、モバイル、パッケージソフト、レガシー)
複雑化したシステム全体を横断した性能検証が可能。
実運用に近い負荷テストで、評価の抜け漏れを防止。



ボトルネックを特定し、何を直すべきか即判断できる

性能データを可視化し、ボトルネック特定と対策判断を迅速化。
調査・議論にかかる時間を大幅に削減。

スクリプト作成/修正工数を削減し、継続的な負荷テスト実現

TruClient や 自動相関 (auto-correlation) などの支援機能により、
スクリプト作成・修正の工数を削減し、変更が多いシステムでも
継続的な負荷テストを実現。

負荷テストのデファクトスタンダードとして世界で豊富な実績

事例：情報テクノロジー業のお客様

- ・ 検証時間を30%削減
- ・ ほぼ毎日のリリース実現
- ・ 本番環境での性能問題を95%削減

参考価格 ※2025年10月時点の価格です

個別見積となります。

【例：約400万円（コントローラ1、Webプロトコル利用、仮想ユーザ数100、保守費除く）】

日立ソリューションズなら

- テスト自動化ツールとの組み合わせ、性能監視ツールとの組み合わせで提案できます。
- 負荷テストも含めたテストプロセスの自動化についても支援しています。

※本リーフレット中の会社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。 ※本文中および図中では、TMマーク、®マークは表記しておりません。 ※製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。 ※本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。 ※本リーフレット中の情報は、作成時点のものです。

株式会社 日立ソリューションズ

www.hitachi-solutions.co.jp

本リーフレット掲載商品・サービスの詳細情報

www.hitachi-solutions.co.jp/microfocus-enterprise/

